

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きりしま子ども発達支援センター実樹		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 28日		～ 令和7年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	100	(回答者数) 55
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 28日		～ 令和7年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は子ども達に分かりやすく構造化された環境・子ども達に合わせた空間となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋のドアに動物のイラストを貼って子どもたちに「今日は〇〇のお部屋でお勉強するよ」と分かりやすく伝える。 ・物品の整理(棚に玩具の写真カードを貼り何があるのかわかりやすい工夫)を行っている。 ・療育の合間などはスタッフ同士で声を掛け合って玩具や物品の整理を意識して行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玩具や物品など増えてきつつあるので、必要なものの選別や整理などをこまめに行いながら引き続き子どもたちが過ごしやすい環境を整えていく。
2	子どもの事を十分に理解し、子どもの特性などに応じた専門性のある支援を提供しているか。 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された個別支援計画書を作成できているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族のNeedや本人の強みを踏まえて多職種で分析を重ねたうえで会議などを実施し、個別支援作成を作成している。 ・子ども一人一人の特性に応じて、スモールステップで達成感を感じられるような支援の提供を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ1人1人が研修などに参加して得た知識やスキル等を他スタッフと共有しながら、必要な支援の質の向上を図っていく。
3	定期的な面談や子育てに関する助言などの共感的な支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼で面談に入る時間をピックアップし毎月均等に相談に入れるよう調整を行っている。 ・必要に応じて管理者・児発管を含めて会議を行いながら相談内容の共有をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育や小集団療育は担当制となる為、療育の時間で相談の時間がもてないことがある。管理者・児発管が把握しながら、別の時間で面談の時間を受けるなどのさらなる工夫が必要。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援開始前には職員間で打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認する時間が持てないこともある。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回必ずとは時間が取れていないこともある ・なるべく振り返りを行うようにはしているが、小集団が終わった後などに続けて療育が入っていると時間を取れないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を決めていないので空き時間をお互い合わせながら要点を絞って効率よく話し合いができるような工夫を行っている。
2	保護者同士の交流の機会、きょうだい向けのイベントの開催等などの家族支援があまり周知されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・就園前の座談会や就学前・就労座談会など毎年開催して交流の場として設けてはいるが周知が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・座談会の対象となる利用者全員にしっかりと案内が出来るようにスタッフが意識して周知していくようにする。 ・案内の掲示やHP・インスタグラムなどの広報についてさらに検討を行っていく必要がある。
3	送迎がないので、仕事等の保護者にとっては療育時間の選択が限られてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育での支援に重点を置いている部分もあるので送迎を行う事は難しい。 ・療育場を保護者の方に見て頂き、その都度支援の方法や関わり、子どもの成長を一緒に見ていく事で、家庭での関わりや子どもの理解に繋がる事を目的にしている事もあるので、送迎は行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎などはなく保護者の負担にはなってしまうが、保護者同伴になるのでその都度家で出来る支援や相談などに力を入れるなど、保護者に送り迎えして頂く事でのメリットをもっと共有していく。